

広域振興局長

提出者

住所 〒020-8585 岩手県盛岡市北飯岡四丁目8番50号

氏名 公益財団法人岩手県予防医学協会

会長 本間 博

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	公益財団法人岩手県予防医学協会	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県盛岡市北飯岡四丁目8番50号	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	894 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	107 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
公益財団法人岩手県予防医学協会	〒020-8585 岩手県盛岡市北飯岡四丁目8番50号	kl
公益財団法人岩手県予防医学協会県南センター	〒029-4503 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根前野209番地1	kl
		kl

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。（A4）



別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1)エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		(R6)年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
		エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量						
		数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D				
化石燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL			kL					
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL					
	揮発油(ガソリン)	105.89	kL	3,537		kL	3,537	243	250	-7	
	ナフサ		kL			kL					
	ジェット燃料		kL			kL					
	灯油		kL			kL					
	軽油	222.29	kL	8,447		kL	8,447	582	588	-6	
	A重油	77.50	kL	3,015		kL	3,015	213	195	18	
	B・C重油		kL			kL					
	石油アスファルト		t			t					
	石油コークス		t			t					
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	10.47	t	525		t	525	31	29	2
		石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³				
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t				
		その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³				
	石炭	原料炭	輸入原料炭		t		t				
			コークス用原料炭		t		t				
		一般炭	吹込用原料炭		t		t				
			輸入一般炭		t		t				
			国産一般炭		t		t				
	輸入無煙炭		t		t						
	石炭コークス		t		t						
	コールタール		t		t						
コークス炉ガス		千m ³		千m ³							
高炉ガス		千m ³		千m ³							
発電用高炉ガス		千m ³		千m ³							
転炉ガス		千m ³		千m ³							
都市ガス	58.74	千m ³	2,643		千m ³	2,643	493	489	4		
その他の燃料()											
()											
非化石燃料	黒液		t		t						
	木材		t		t						
	木質廃材		t		t						
	バイオエタノール		kL		kL						
	バイオディーゼル		kL		kL						
	バイオガス		千m ³		千m ³						
	その他バイオマス		t		t						
	RDF		t		GJ/t						
	RPF		t		GJ/t						
	廃タイヤ		t		GJ/t						
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t		GJ/t						
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t		GJ/t						
	廃油		kL		GJ/kL						
	廃棄物ガス		千m ³		千m ³						
	混合廃材		t		t						
水素		t		t							
アンモニア		t		t							
その他燃料()											
小計①							18,166	1,563	1,551	12	
熱	産業用蒸気		GJ		GJ						
	産業用以外の蒸気		GJ		GJ						
	温水		GJ		GJ						
	冷水		GJ		GJ						
	地熱		GJ		GJ						
	温泉熱		GJ		GJ						
	太陽熱		GJ		GJ						
	雪氷熱		GJ		GJ						
小計②											
電気	電気事業者①	1,889.80	千kWh	16,328		千kWh	16,328	760	921	-161	
	電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh			千kWh					
	自己託送(非燃料由来を除く)			千kWh			千kWh				
	自家発電	太陽光	48.60	千kWh	175		千kWh	175			
		水力		千kWh			千kWh				
		風力		千kWh			千kWh				
その他		千kWh			千kWh						
小計③							16,503	760	921	-161	
合計 ④=①+②+③							34,669	2,323	2,472	-149	

(2)原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	894	kL
--------------	-----	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	2,323 t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素	t-CO ₂
メタンの排出量		t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量		t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量		t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量		t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量		t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量		t-CO ₂
合 計		2,323 t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

令和3年度を基準とし、3年間で化石燃料と電気からの二酸化炭素排出量を5%以上削減するとの目標を掲げて取り組みを行った。

化石燃料における排出量は、都市ガスの二酸化炭素排出係数が変更になったため比較は難しいが、使用量は各項目増えていた。

コロナ禍と比較して事業が回復してきたことを考慮すると必然的な結果であった。

電力での二酸化炭素排出係数も変更となり、排出量の比較は難しいが使用量は減少した。

温暖化による影響での増加は、下記取り組みで抑えることができている。

【具体的な取組状況】

検診車、業務車両の更新。

ウォームビズ、クールビズについて、調整期間を用いて積極的に実施し、室温を25～27度で設定している。

電力デマンド抑制装置を導入している。

窓ガラスのコーティングを行い、外からの熱を遮り室温の変化を抑制している。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

別紙 その3 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (R6年度)

自動車		二酸化炭素の排出			燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	48 (8)	105,892 ℓ	2.29 kg-CO ₂ /ℓ	242,506 kg-CO ₂	
軽油	59 ()	222,294 ℓ	2.62 kg-CO ₂ /ℓ	582,292 kg-CO ₂	
LPG	()	kg	2.99 kg-CO ₂ /kg	kg-CO ₂	
電気		kWh	0.402 kg-CO ₂ /kWh	kg-CO ₂	
その他	()		kg-CO ₂ /()	kg-CO ₂	
合計	107 (8)			824,798 kg-CO ₂	

備考1 保有台数欄の()には、ハイブリッド車の台数(内数)を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

令和3年度を基準に、自動車の二酸化炭素排出量を5%以上削減しようと取り組んできた。

令和3年度と比較すると、約4%増加した。

令和3年度はコロナ禍の影響もあり、巡回健診の数も令和6年度と比較すると少なかったことが考えられる。

検診車や業務車両の更新も行っているので次年度期待したい。

【具体的な取組状況】

昨年度検診車を更新し、燃費が良くなり軽油量の減少が期待できる。

全車両のドライブレコーダー導入により、運転者の点数化を行い、急加速、急ブレーキ、急発進等データ管理をしてエコ運転を徹底している。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項